

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学校探検では、場所を見るだけでなく、それぞれの場所にいる人に話を聞いたり、質問したりすることで、学校での生活に様々な人が関わっていることに気付くことができた。
- ・公園で見つけたドングリや落ち葉など、自然のものを利用した遊びや、遊びに使うものを工夫して作ることができた。
- ・「秋まつり」や「2年生ランド」などの交流では、おもちゃ作りやお店やさんを開き、相手意識をもち、伝えたいことを選びながら活動することができた。
- ・自分たちが不思議に思ったことや、やってみたいことから課題を見付けられる児童が増えた。

(2) 課題

- ・校庭の四季を感じられる活動に年間を通して取り組み、柑橘系の木々や実を教材として取り入れることも検討していきたい。
- ・1年生では、社会とのつながりを意識した活動が少なかったため、自分と他者との関わりに気付ける活動を増やす必要がある。
- ・2年生の町探検では、少人数のグループで、興味をもったことなどを追究できるような活動を行う。
- ・アサガオの植え方、学校探検、2年生ランド以外にも、1・2年生で交流する機会を増やしていく。
- ・校庭で採れる昆虫が少なく、年間を通して生き物に触れる機会が少なかったことから、他機関との連携を検討したい。
- ・コロナ流行前の教育活動を行い、1年生と幼稚園、保育園などとの交流も復活させていく。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学校にある果実を利用して、遊びなどを工夫して取り組むようにする。また、どの季節にどのような果実があるか観察することで、それぞれの季節の自然の特徴や違いを見つけるようにする。 ・少人数のグループで地域のお店や公共施設を見学したり話を聞いたりする活動をする中で、自分たちとの関わりや町の良さに気付くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の物を利用して遊んだり、触れ合ったりすることで、その面白さや不思議さに気付くようにする。 ・生活科の学習を通して気付いたことや分かったことをまとめ、相手に応じた伝え方を工夫して、1年生や家の人に伝えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科の学習の中で、活動の幅を広げ、他学年や幼稚園・保育園とすすんで交流しようとする気持ちを育てられるようにする。 ・地域の農園で虫探しや野菜の収穫をしたり、虫を飼育したりする活動を通して、動植物に触れ合う機会を多くし、自然や生き物への親しみをもてるようにする。